

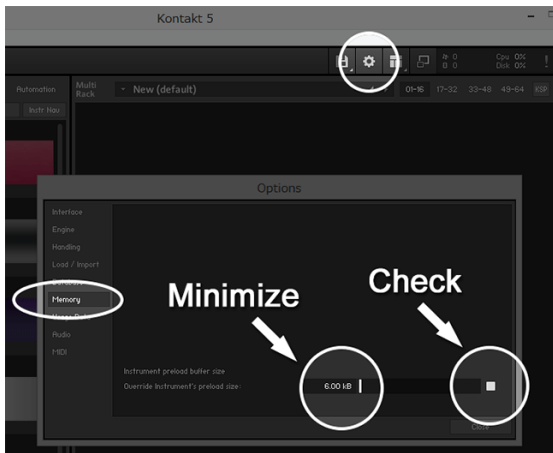


**SR5 Rock Bass 2 update
ver.2.02**

[重要] プリロード・バッファ・サイズの設定

マルチやインストゥルメントをロードする前に必ず*preload buffer size*の確認を行ってください。

ロード時に膨大な数のサンプルが読み込まれるため、まずKontaktのオプション画面でプリロードの設定を行ってください。Kontaktのプリロードの初期設定はストリーミングの安定度を優先させるためにプリロードのサイズがかなり大きく設定されています。（通常の使用では大きすぎる値が設定されています。）数多くのサンプルを読み込む際に生じるメモリ不足を回避するためには、プリロードのサイズを小さくしなくてはなりません。



1. 'Options' ボタン



をクリックして 'Memory' のタブをクリックしてください。

2. チェックボックスをクリックして白く塗りつぶされた状態にし、'Override Instrument' s preload size' の値を最小の6kbにしてください。

まずは最小の6kbで試してみることをお勧めいたします。もしサンプルのストリーミングがスムーズに行われず音切れ等が発生するようであれば、'Override Instruments preload size' の値を12kbにしてください。最適な値はお使いのコンピュータの性能によって異なりますが、一般的には12kbのプリロードバッファがあればストリーミングは問題なく行われます。それでもまだストリーミングが追いつかず音切れする場合には必要に応じて値を大きくしてください。

ver.2.02 新機能および変更点

【追加された新機能】

- ユーザー・コード・フォーム・エディタで作成したユーザー・コードを5フレットよりも上のポジションでプレビューできるようになりました。(新たに追加された左右の矢印ボタンで任意のポジションへ移動することができます)
- ユーザー・コード・フォーム・エディタでフレット番号とそのユーザー・コードの各弦の音名(コードの構成音)が表示されるようになりました。
- ユーザー・コード・フォーム・エディタでそのユーザー・コードが演奏可能なノーマル・キーの範囲と現在プレビュー用に選択されているポジションでそのコードを鳴らす際に使用するノーマル・キーのMIDIノート名が表示されるようになりました。

【修正】

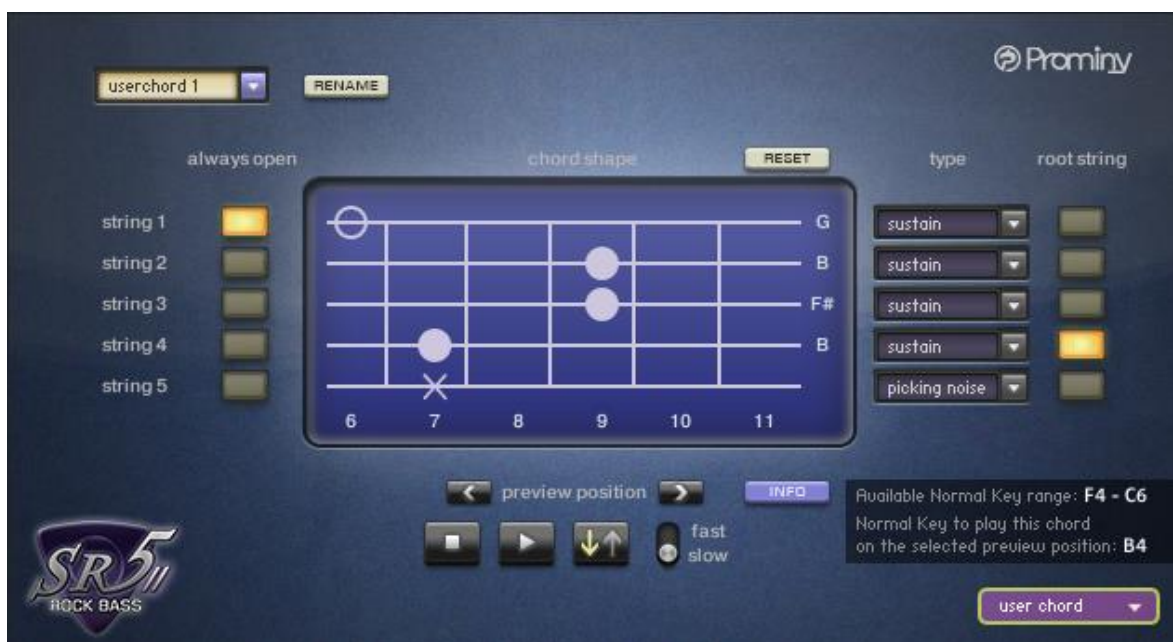
いくつかの状況下においてフレットボード・モニタのピックの画像が正しく表示されない現象を修正しました。

[Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player (またはKontakt) 5.8.1 以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

ユーザー・コード・フォーム・エディタの新機能



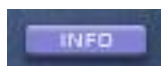
エディット中のフレット番号とそのユーザー・コードの各弦の音名（コードの構成音）が表示されるようになりました。

矢印ボタン（左/右）

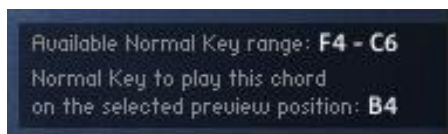


矢印ボタンをクリックするとエディット中のユーザー・コードのフレット・ポジションを左右に移動することができます。（以前のバージョンにおいても5フレットより上のユーザー・コードを作成することが可能でしたが、この新機能によりエディタ画面上で5フレットより上のポジションでのレビューを行うことも可能となりました。）

INFOボタン



このクリックするとエディット中のユーザー・コードに関する以下の情報を表示/非表示することができます。



Available Normal Key range

そのユーザー・コードが演奏可能なノーマル・キーの範囲

Normal Key to preview the chord on the selected preview position

現在表示中のフレット・ポジションでそのユーザー・コードを鳴らす際に使用するノーマル・キー

[ヒント]

Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードで表示されている各種キー・レンジ（範囲）はフレットボード・モニタ画面で現在演奏対象として選択されている奏法（instrument）のキー・レンジです。

エディット中のコードはプレビューボタンをクリックして確認することができますが、もし Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードやお使いの MIDI キーボード・コントローラでそのユーザー・コードを鳴らしたい場合は、フレットボード・モニタ画面でそのユーザー・コードが選択されている必要があります。



（例：「user chord 1」をエディット中に Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードや MIDI キーボード・コントローラで鳴らしたい場合）

ユーザー・コード・フォーム・エディタ画面を表示する前に、まずフレットボード・モニタ画面左上にある「instrument」のプルダウンメニューから「user chord 1」を選択します。

その次にユーザー・コード・フォーム・エディタ画面を表示し、ここでも画面左上のプルダウンメニューから「user chord 1」を選択します。これを行うことにより、エディット中のユーザー・コードの演奏可能なキー・レンジが、Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードに表示されます。



ver.2.01 新機能および変更点

【追加された新機能】

- エフェクト (comp, overdrive, modulation) をMIDI CC (68, 69, 70) でON / OFFする機能を追加

【改善】

- 一部のダウンチューニングのサンプルのサンプル・スタート・ポイントを調整

[Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player (またはKontakt) 5.8.1 以降のバージョンが必要となります。
最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-6-player/free-download/>

MIDI CCでエフェクトのスイッチをコントロールする

以下のMIDI CC#で各エフェクトのスイッチをON/OFFすることができます。

MIDI CC#	Effect
68	comp (0-63: OFF / 64-127: ON)
69	overdrive (0-63: OFF / 64-127: ON)
70	modulation (0-63: OFF / 64-127: ON)

SR5 Rock Bass 2 update ver. 2.02

Written by AKIHITO OKAWA

January 21, 2020

Copyright © 2004 – 2020 Prominy, Inc / AKI Sound

All rights reserved



<http://prominy.com>

Email: info@prominy.com